

2022年3月期 第3四半期 決算補足説明資料



株式会社オーブドア
(証券コード：3926)

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料

■ 新型コロナウイルス感染拡大による影響

- 新型コロナ新規感染者数は9月から減少に転じ12月までは低い水準で推移し国内旅行需要は一旦回復に向かったが、1月はオミクロン株による感染急拡大によって新規感染者数は過去最多を更新し国内旅行需要は減退
- * 5ページ「新型コロナウイルス感染拡大による影響」参照

■ 3Q実績

【累計期間（4月～12月）】

- 売上高 **886百万円**（前期3Q比 **▲0.4%**、前々期3Q比 **▲77.5%**）
- 営業利益 **▲505百万円**（前期3Q実績 **▲523百万円**、前々期3Q実績 **1,617百万円**）
- 当期は新型コロナ新規感染者数が8月下旬に過去最高となるも9月から減少し一定の国内旅行需要があったことから、売上高、営業利益ともに、Go To トラベルキャンペーンの効果があった前期と同程度で着地

■ 2022年3月期 業績予想

- 新型コロナによる旅行市場への影響を予測することが困難なため、2022年3月期の業績予想については現時点で引き続き『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表
- まだ不確実な要素が多く業績の予測は困難だが、オミクロン株がピークアウトすれば、その後の国内旅行需要は徐々に回復し、Go To トラベルキャンペーンが再開されればその後の急激な回復が見込まれる
- 海外ではオミクロン株のピークアウトも報告されており、入国時の規制を緩和する国もでてきていることから、これが広がれば年末にむけて海外旅行需要も徐々に回復することが見込まれる
- 当社では国内旅行需要が2019年同月比で7割程度に回復すれば海外旅行需要の回復がなくても月次での黒字化も見通せる状況
- 引き続き開発スピードを高め、回復期の需要を取り込み、さらなるサービスの拡充及び競争力の強化を図る

※ 2022年3月期3Q：自己資本比率 94.2%、現預金残高 約31億円

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料

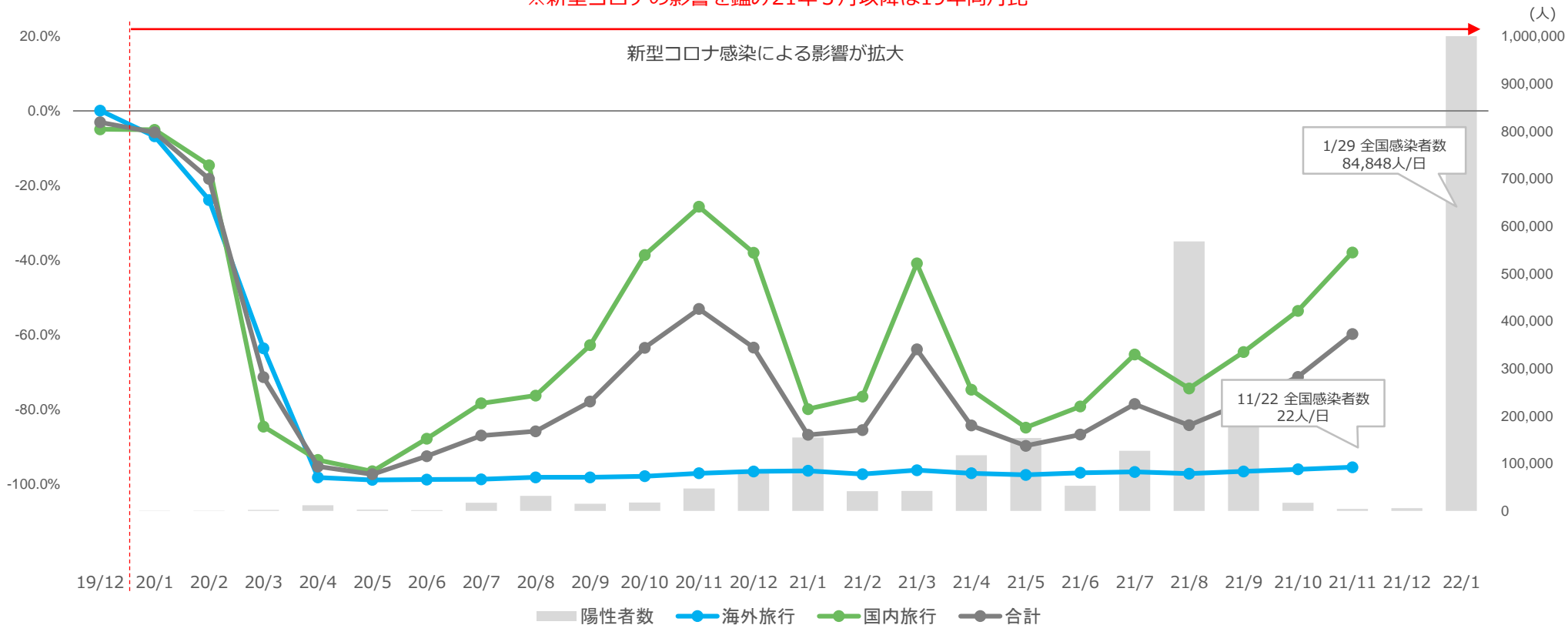
新型コロナウイルス感染拡大による影響

- 新型コロナ新規感染者数は9月から減少に転じ12月までは低い水準で推移し国内旅行需要は一旦回復に向かったが、1月はオミクロン株による感染急拡大によって新規感染者数は過去最多を更新し国内旅行需要は減退

※ グラフの「合計」は当社にて主要旅行業者の海外旅行と国内旅行の総取扱額を合算し算出

主要旅行業者 総取扱額の前年同月比推移 と 月別新規陽性者数推移

※新型コロナウイルスの影響を鑑み21年3月以降は19年同月比



出典：観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」をもとに当社作成
厚生労働省 新型コロナウイルス感染症 オープンデータ 新規陽性者数の推移(日別)をもとに当社作成

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料

2022年3月期 第3四半期 業績概要（会計期間）

- 売上高は、新型コロナ新規感染者数が9月から減少し国内旅行需要が回復にむかったため、当期2Qを上回り着地
- 前期は10月からGo To トラベルキャンペーンの対象に東京が追加
- コストは当期2Qと同程度で推移
- 営業利益は当期2Qに比べ赤字幅が縮小

単位：百万円

	2021/3 (前期) 3Q(会) 実績	2022/3		2022/3 (当期) 2Q(会) 実績	前Q比	2020/3 (前々期) 3Q(会) 実績	前々年 同期比	
		2022/3 (当期) 3Q(会) 実績	増減額					前年同期比
売上高	430	356	-73	-17.1%	296	+20.3%	1,156	-69.1%
売上原価	163	170	+6	+4.0%	162	+4.6%	169	+0.3%
売上総利益	266	186	-80	-30.1%	133	+39.4%	987	-81.1%
販売費及び一般管理費	319	297	-22	-7.1%	293	+1.0%	357	-16.8%
営業利益	-52	-110	-57	-	-160	-	630	-
経常利益	-44	-89	-45	-	-126	-	630	-
当期純利益	-54	-90	-36	-	-127	-	395	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	54.5%	-

2022年3月期 第3四半期 業績概要（累計期間）

- 当期は新型コロナ新規感染者数が8月下旬に過去最高となるも9月から減少し一定の国内旅行需要があったことから、売上高、営業利益ともに、Go To トラベルキャンペーンの効果があった前期と同程度で着地

単位：百万円

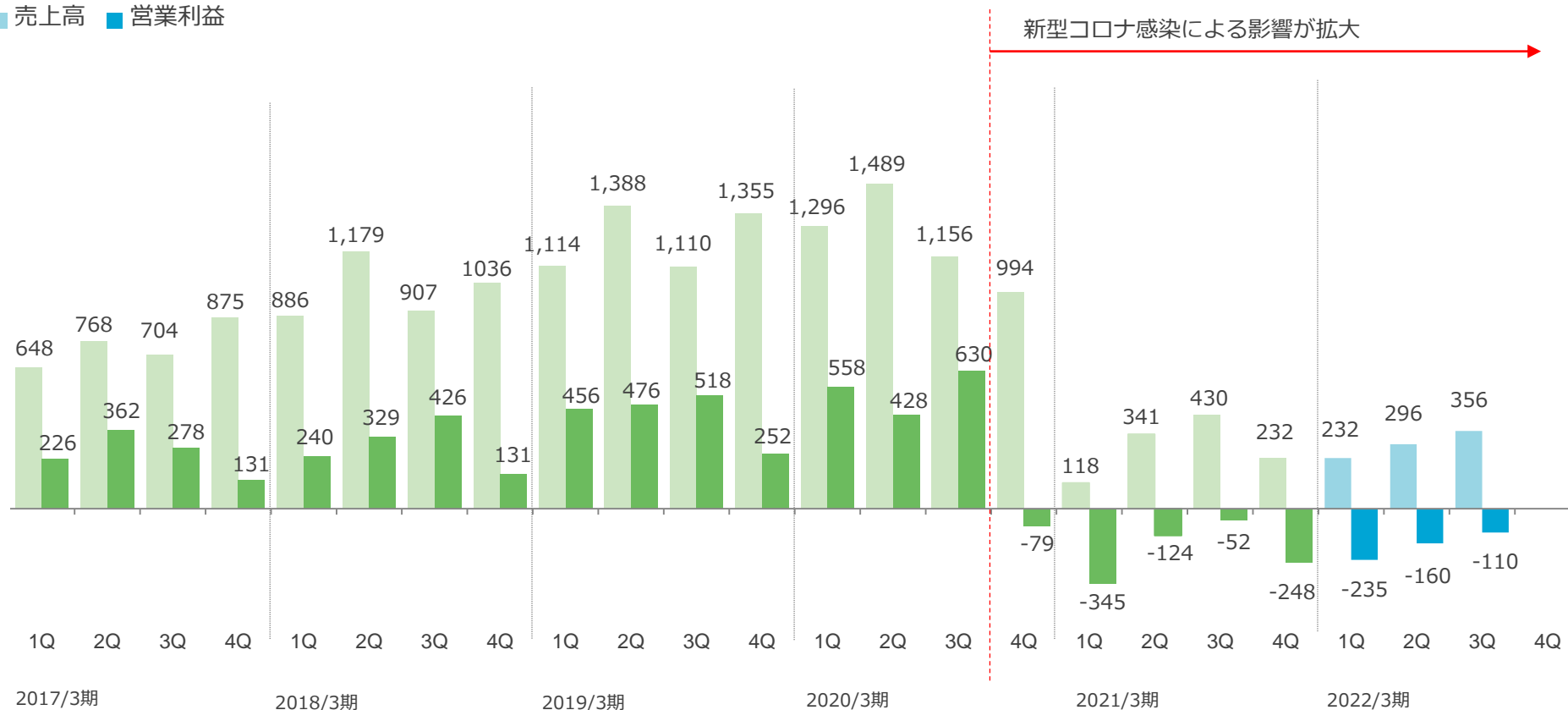
	2021/3 (前期) 3Q(累) 実績	2022/3 (当期)		2020/3 (前々期) 3Q(累) 実績	前々年 同期比
		3Q(累) 実績	増減額		
売上高	890	886	-3	3,942	-77.5%
売上原価	477	496	+18	500	-0.8%
売上総利益	412	390	-22	3,442	-88.7%
販売費及び一般管理費	936	896	-39	1,824	-50.9%
営業利益	-523	-505	+17	1,617	-
経常利益	-465	-412	+52	1,619	-
当期純利益	-499	-415	+84	1,010	-
営業利益率	-	-	-	41.0%	-

2022年3月期 第3四半期 業績概要 / 四半期業績推移

- 新型コロナ感染拡大長期化により大きな影響を受け、売上トレンドは例年と大きく異なる

単位：百万円

■ 売上高 ■ 営業利益



1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料

■ 2022年3月期 業績予想

新型コロナによる旅行市場への影響を予測することが困難なため、2022年3月期の業績を適正かつ合理的に予測することが難しい状況である

そのため、2022年3月期の業績予想については現時点において『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表

■ 新型コロナウイルスによる今後の影響と当社方針

まだ不確実な要素が多く業績の予測は困難だが、オミクロン株がピークアウトすれば、その後の国内旅行需要は徐々に回復し、Go To トラベルキャンペーンが再開されればその後の急激な回復が見込まれる

海外ではオミクロン株のピークアウトも報告されており、入国時の規制を緩和する国もでてきていることから、これが広がれば年末にむけて海外旅行需要も徐々に回復することが見込まれる

当社では国内旅行需要が2019年同月比で7割程度に回復すれば海外旅行需要の回復がなくても月次での黒字化も見通せる状況であり、財務基盤も強固である

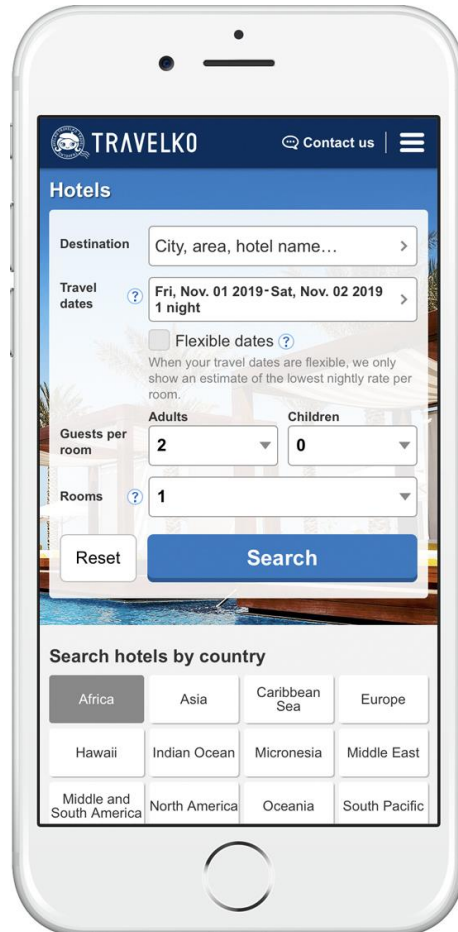
これら状況を踏まえ引き続き開発スピードを高め、回復期の需要を取り込み、さらなるサービスの拡充及び競争力の強化を図る

※ 2022年3月期 3Q：自己資本比率 94.2%、現預金残高 約31億円

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料



- 需要回復期における市場ニーズに対応したプロモーション
- 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- 新規連携の強化による商品情報の拡充
- 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- 横断比較サービスのメニュー拡大
(民泊・旅行保険・アウトドアなど)



- 新型コロナ関連情報の強化
- 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェース
ローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOオープン
- 観光情報の拡充

今後の主な取り組み予定 / リニューアル及び機能強化の具体例

年度内に27件以上、1年以内に70件以上のリリースを予定

最近・近日中のリリースの一例

トラベルコまとめ

- ・各国の新型コロナによる入国制限等
最新の海外渡航情報を掲載

国内ホテル

- ・表示項目からの絞り込み機能
- ・GoToトラベル再開時の
対応も準備中

海外航空券

- ・国際線専門のLCC
ZIPAIR Tokyoと新規連携開始

国内ダイナミックパッケージ

- ・国内航空券+ホテルで、
日本旅行と新規連携開始

トラベルコまとめ

海外渡航時の新型コロナによる入国・帰国制限
ワクチン接種証明書やPCR検査・隔離等の措置
情報

更新日：2022年02月03日 | 閲覧数：95

主な国・地域の入国可否

表の国名を押下すると、入国・帰国時の必要書類や対応などの詳細情報欄に移動します。

国名	観光目的の渡航	業務目的の渡航	感染症危険情報
アジア	○	×	レベル3
ハワイ・ミクロネシア	○	×	レベル3

●：入国可・隔離なし ○：入国可・隔離あり
×：入国不可

※感染症危険情報

国名	観光目的の渡航	業務目的の渡航	感染症危険情報
グアム	○	×	レベル3
サイパン・ロタ	○	×	レベル3
ハワイ	○	×	レベル3
パラオ共和国	○	×	レベル2

国別一覧

ハワイ

●：入国可・隔離なし ○：入国可・隔離あり
×：入国不可

※感染症危険情報

観光目的の渡航	業務目的の渡航	感染症危険情報
ワクチン接種完了	ワクチン接種完了	レベル3
ワクチン未完了	ワクチン未完了	レベル3

※日本国籍の方が日本発着の直行便で、観光・業務目的で渡航する場合の制限を記載

※経由便をご利用の場合は旅行会社および航空会社にお問い合わせください

■入国時の制限

- ・観光目的（ワクチン接種完了）の場合

必要書類・手続	<ul style="list-style-type: none"> ・パスポート ・ワクチン接種証明（日本政府発行のもの可） ・陰性証明書（2歳以上） ・宣誓書 ・ESTAの申請 ※ワクチン接種完了：2回接種済み
出発前の検査	出発前1日以内
到着後の検査	なし
隔離措置	なし
参照	入国制限について 行動制限について

国別詳細

東京ディズニーリゾートのホテル・宿泊予約

ディズニーランド(千葉県)周辺
01月29日(金) 10泊 大人2名 子供2名 1部屋

Go To 対象プラン 国内ホテルのGo To 関連情報

24,458件 表示について？

箱根強羅温泉 コージーン 箱根の山

合計(税込) 150,000円 明細 空室確認 20時間前 予約する

GoTo 割引後参考料金 102,870円～ ① ログイン 必須

箱根強羅温泉 コージーン 箱根の山

詳細・予約サイト一覧

各種予約物は規定は、画面下部の「予約サイト一覧」でご確認下さい

往路 ZIPAIR ジップエアー フライト詳細
8/28(金) 10時15分(直行) 14:45 NRT → エコノミー → LAX 09:00
8/26(金)

復路 ZIPAIR ジップエアー
8/30(火) 11時10分(直行) 11:00 LAX → エコノミー → NRT 14:10
8/31(水)

航空券の価格追跡メールを受取る？

予約サイト一覧

注意点：ご予約の前にお読みください

ジップエアー 明細 1名総額 68,738円 (税込、諸税、手数料込)

Trip.com 明細 1名総額 74,240円 (税込、諸税、手数料込)

東京(羽田)発札幌(新千歳)着 ANAなどの航空券+ホテル

新千歳 2/10東京(羽田)→札幌(新千歳) 条件変更
2/11札幌(新千歳)→東京(羽田)

新千歳 2/10～1泊 大人2名 子供0名×1部屋
北海道・道央>札幌
北部タイプ：禁煙...

ANA JAL Jetstar peach SKY FTA

1～20件(全205件)

Tマークシティホテル札幌大通

北海道 道央 > 札幌市周辺・定山溪
アクセス：札幌市電山鼻線「西8丁目」駅から徒歩0.13km
周辺マップを見る (駐車場あり)

写真：楽天トラベル

★★★★☆ ￥★★★★ 全593件
ホテルランク 価格帯 クチコミ評価

最安値プラン (消費税・空港使用料込) アイコンについて？

航空券+ホテル 2名総額 48,000円 予約・詳細へ
大人1名 24,000円

日本旅行

航空券 予約後すぐに取消料が発生
移動先で宿泊プランを再選択

往路 ANA 普通席 / 直行 札幌(新千歳) 21:00 → 22:40
東京(羽田) 06:50 → 08:20

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料

当社は、2022年1月11日付で株式会社東京証券取引所より公表されました上場会社による新市場区分の選択結果のとおり、2022年4月4日をもって「プライム市場」に移行することとなりましたので、お知らせいたします。

今後も、多くの投資家やステークホルダーの皆様のご期待に添えるよう、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料

■ 2022年3月末を基準日とする株主優待実施の見送り

2022年3月末日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上を保有されている株主様に対する株主優待の実施を見送りとさせていただきます。

■ 見送りの理由

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝を申し上げるとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有いただくことを目的として、株主優待を実施してまいりました。しかしながら、当期第3四半期までの決算状況を鑑み、2022年3月末を基準日とする株主優待の実施を見送ることを決定いたしました。

当社は今後も企業価値の向上に努める所存でございます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

■ 対象と内容

(1) 対象の株主様

2022年3月末日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上を保有されている株主様

(2) 見送る株主優待の内容

クオカード1,000円分

■ その他

2023年3月期以降につきましては今後の状況等を踏まえ検討していく方針です。

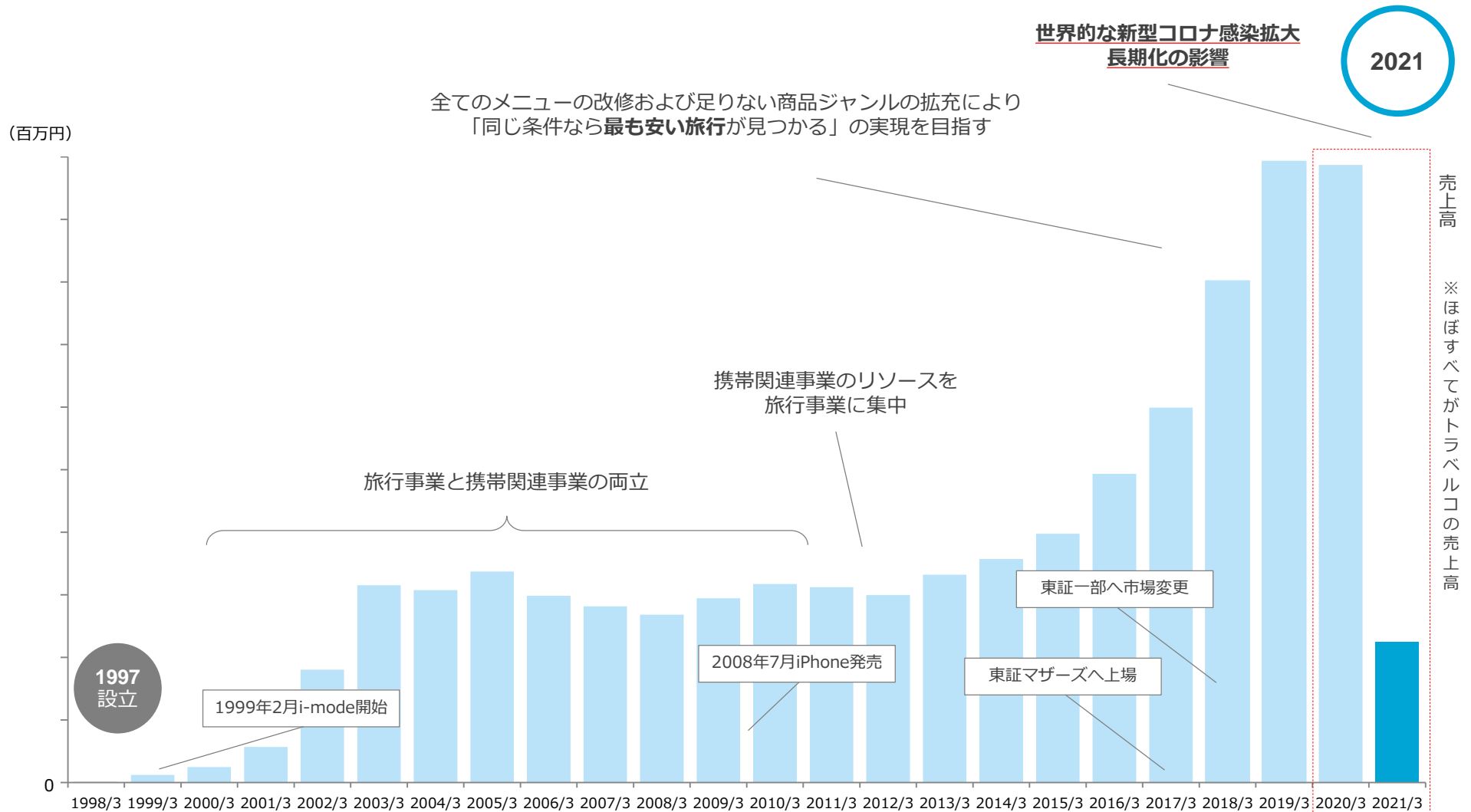
1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第3四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 新市場区分「プライム市場」移行
7. 株主優待について
8. 参考資料

2022年3月期 第3四半期 / 貸借対照表

- 自己資本比率94.2%で高い水準を維持
- 現預金残高は3,107百万円

単位：百万円	2021/3末 実績	2021/12末 実績	増減額
流動資産	3,706	3,391	-315
現金及び預金	2,918	3,107	+189
その他	788	284	-504
固定資産	2,989	2,225	-764
資産合計	6,696	5,616	-1,079
流動負債	117	172	+55
固定負債	368	146	-222
負債合計	485	318	-167
純資産合計	6,210	5,298	-911
資本金	648	648	-
資本剰余金	473	473	-
利益剰余金	4,366	3,950	-415
その他	722	225	-496
負債純資産合計	6,696	5,616	-1,079

会社名	株式会社オーブンドア
設立	1997年4月
代表者	代表取締役社長 関根 大介
資本金	648百万円
上場取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード：3926）
事業内容	旅行比較サイト「トラベルコ」 多言語旅行比較サイト「Travelko」 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営
連結子会社	ホテルスキップ株式会社 出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売
従業員数	連結185名



1,500以上の旅行サイトの商品を比較・検索できる旅行比較サイト

理想の旅を、いちばん安く。
トラベルコ
TRAVELKO

運営会社：株式会社オープンドア(東証一部)
初めての方へ よくある質問 メルマガ

不具合・要望
予約サイトでのトラブル

国内 ホテル ▼ 航空券 ▼ ツアー ▼ その他 ▼ 海外 ホテル ▼ 航空券 ▼ ツアー ▼ その他 ▼ 旅行ガイド他 ▼ 履歴 お気に入り (0)

JTB、HIS、一休.com、楽天トラベル、Expedia、Booking.comなど、
国内外1,500以上の旅行サイトを比較！

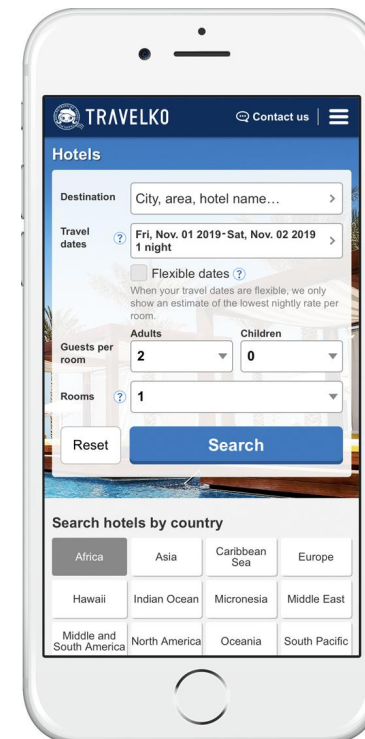
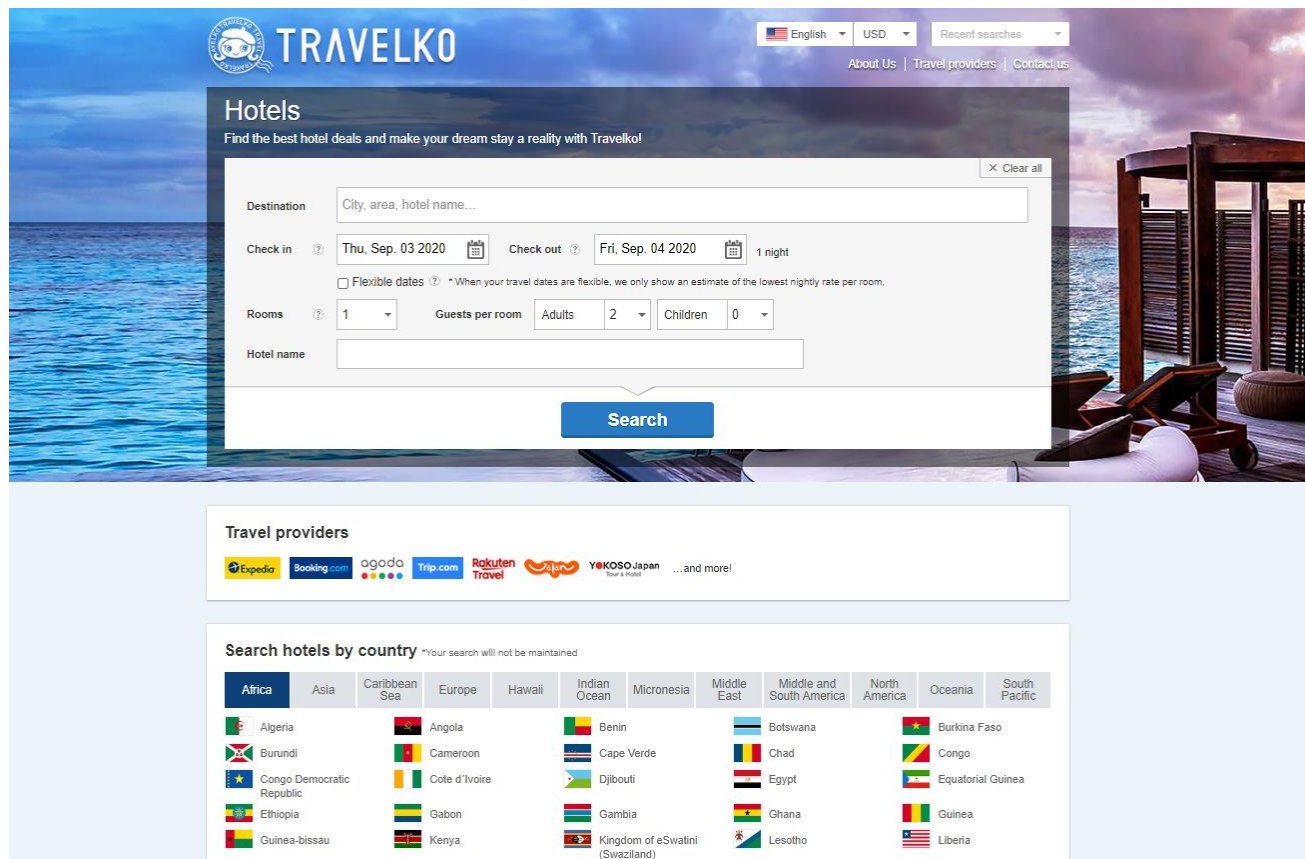
プレスリリース 2020年 オリコン顧客満足度調査「航空券」「ホテル」「ツアー」比較サイト全3分野で第1位を獲得

国内旅行		海外旅行	
国内ホテル	国内格安航空券	海外オンライン体験ツアー 自宅に居ながら 海外旅行が味わえる	
国内ツアー	国内航空券+ホテル	海外ホテル	海外格安航空券
新幹線+ホテル	国内レンタカー	海外ツアー	海外航空券+ホテル
夜行バス・高速バス	遊び・体験	オプションツアー	海外Wi-Fiレンタル
日帰りバスツアー	ファイナルコール	ファイナルコール	ファイナルコール

トラベルコ 旅行比較アプリ
無料インストール



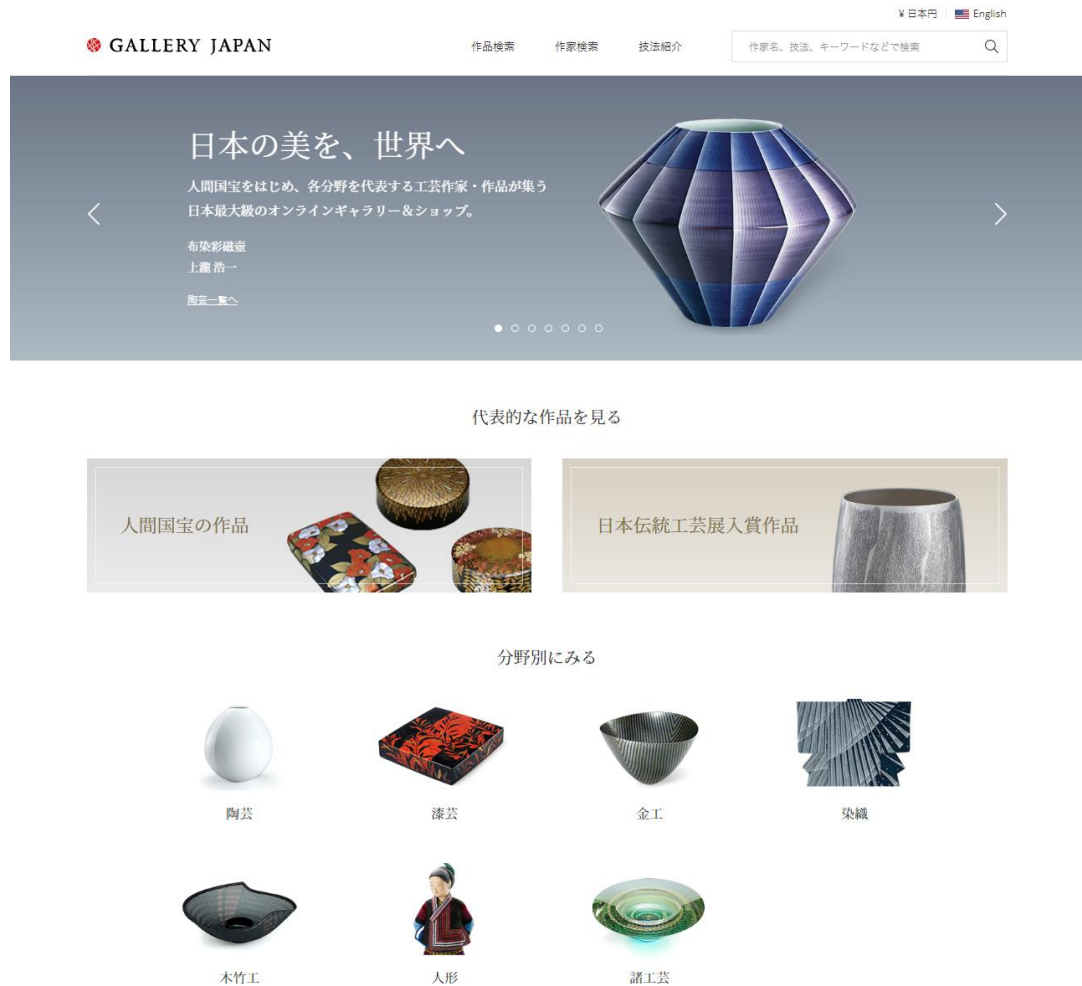
海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ



対応言語

英語
中国簡体字
繁体字 (台湾)
繁体字 (香港)
韓国語

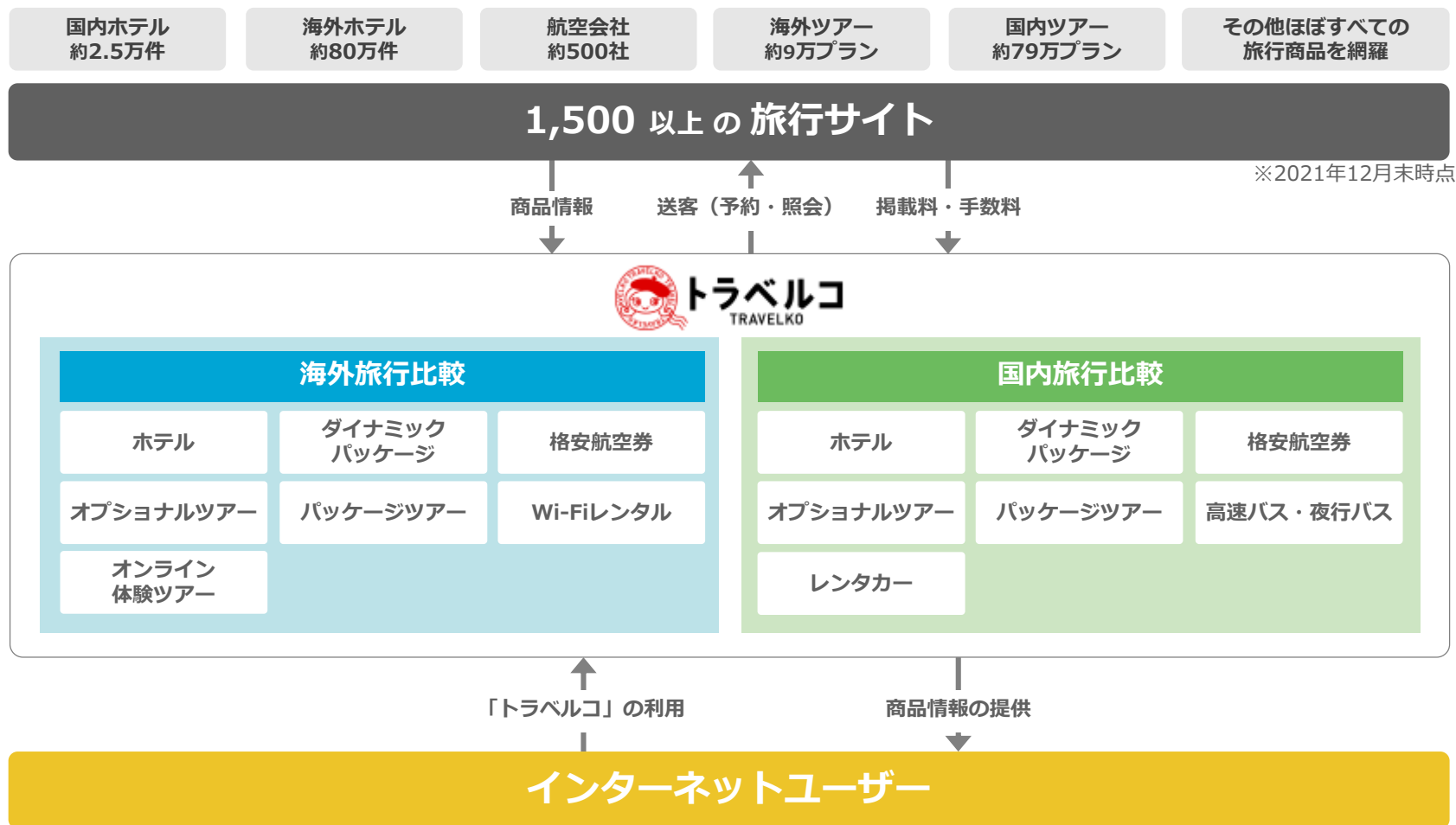
海外及びインバウンド市場をターゲットとした“伝統工芸作品”を世界へ紹介するサイト



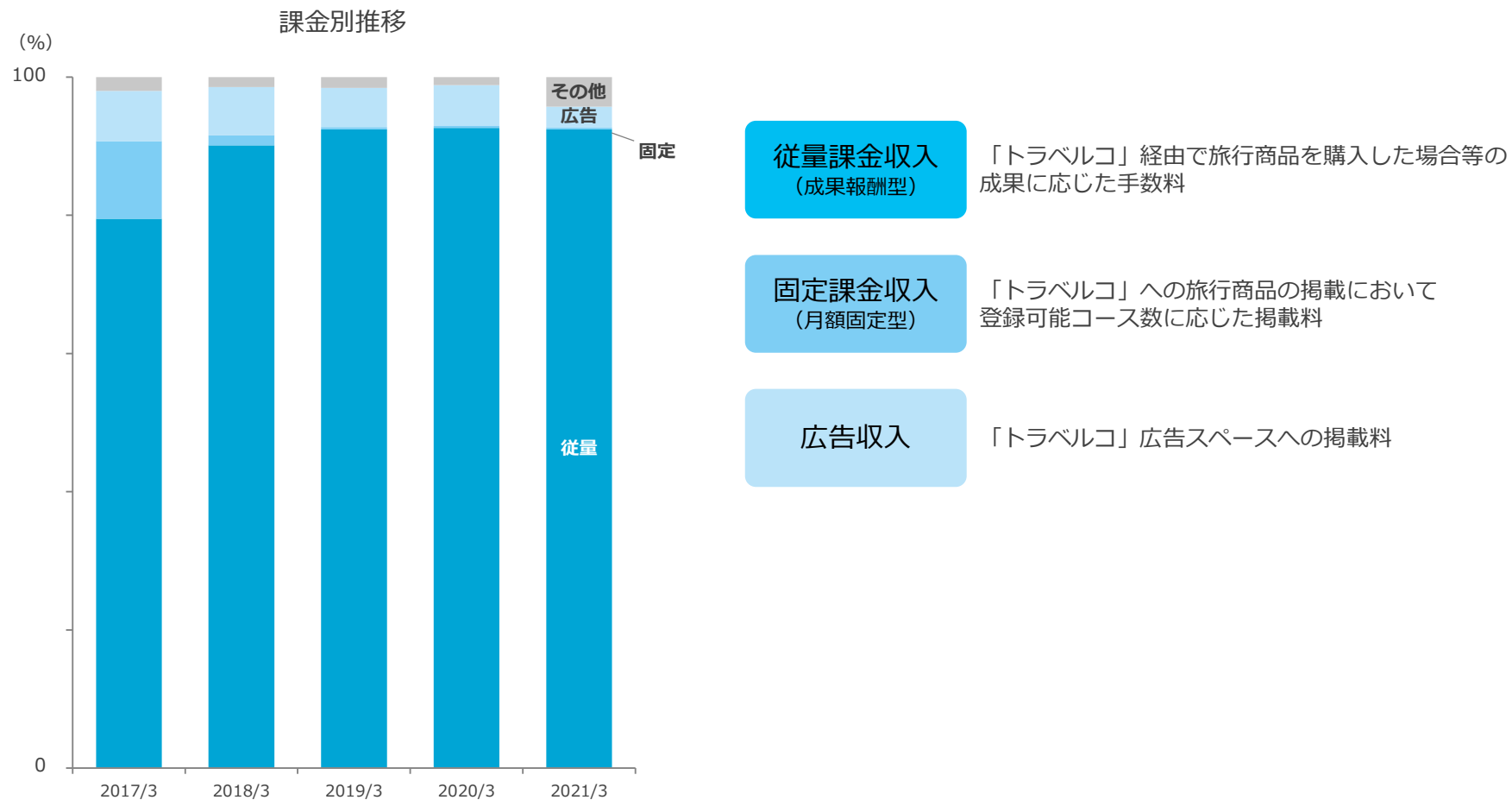
対応言語

英語
日本語

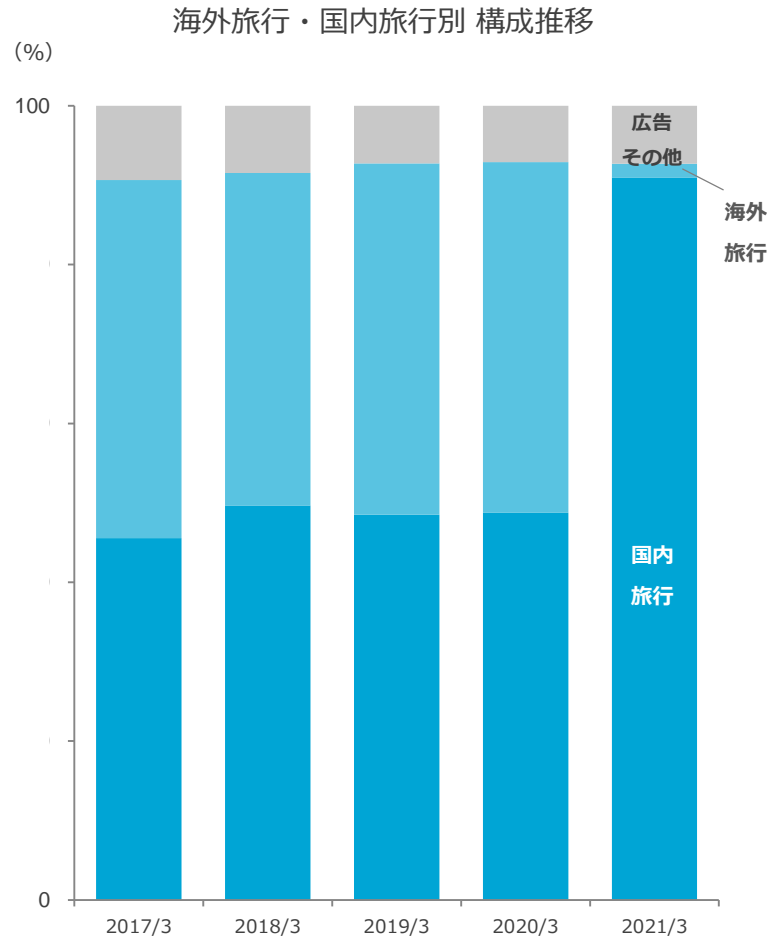
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



21/3期は新型コロナの影響で国内旅行がほとんどを占める

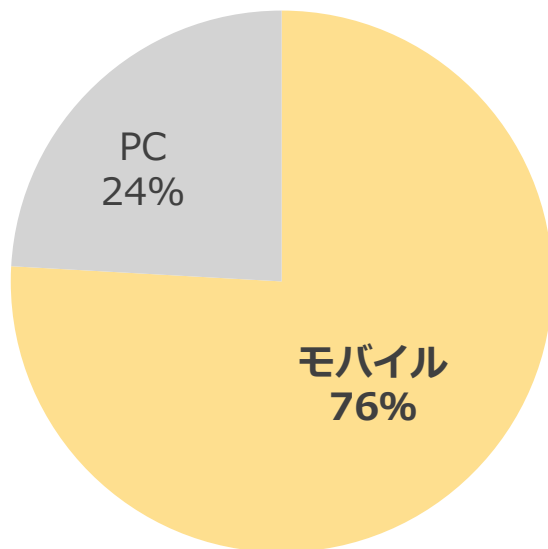


世界的な新型コロナ感染拡大の影響により
海外渡航制限が続いたことで
売上高構成割合が大きく変動

新型コロナの影響を大きく受けユーザー属性傾向の参考になりにくいため20年3月期データを使用

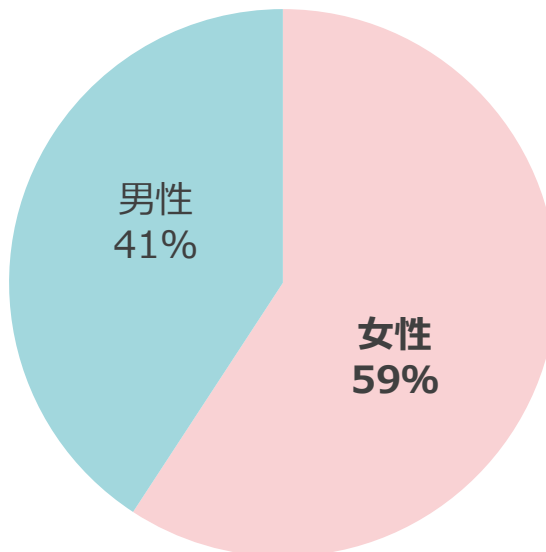
ユーザー属性※1

閲覧環境

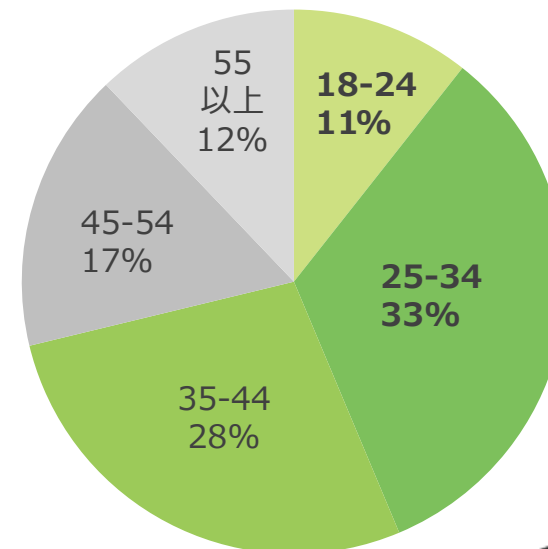


※ほぼすべてのジャンルでスマートフォン対応済

性別



年齢別



価格と内容にもっともシビアなF1層に支持されています



※1 2019/4 - 2020/3までの当社アクセス解析データ

多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか？

1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、オプションツアー、レンタカー、夜行バス、海外Wi-Fiレンタルなど。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

海外旅行比較		
ホテル	ダイナミックパッケージ	格安航空券
オプションツアー	パッケージツアー	Wi-Fiレンタル
オンライン体験ツアー		

国内旅行比較		
ホテル	ダイナミックパッケージ	格安航空券
オプションツアー	パッケージツアー	高速バス・夜行バス
レンタカー		

2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合があります。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急トラベル
JR東海ツアーズ 近畿日本ツーリスト 日本旅行
HIS 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANA X
西鉄旅行 名鉄観光サービス 旅工房 ベルトラ

楽天トラベル 一休 るるぶトラベル Yahooトラベル

Expedia Booking.com agoda Trip.com

エアトリ Spring Japan スカイチケット
スターフライヤー AIRDO

…**1,500**以上の旅行サイト

なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか？

ほぼ全てのシステム開発を内製化

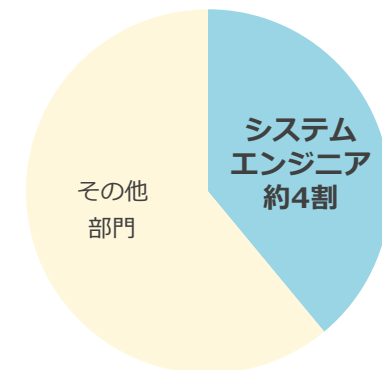
これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約80名のシステムエンジニアが日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いています。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。

全従業員に占める
システムエンジニアの割合



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社オーブドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

株式会社オーブドア 管理本部

TEL : 03-5545-7215 FAX : 03-3586-8708

ホームページ : <https://www.opendoor.co.jp>